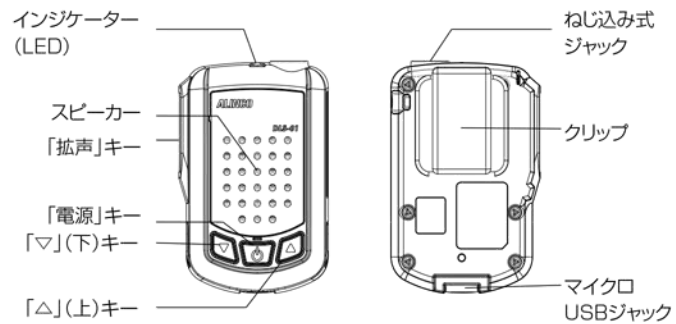


各部の名称

■本体



注意 ・スピーカーにシール類を貼り付けしないでください。音が拡声しにくくなります。

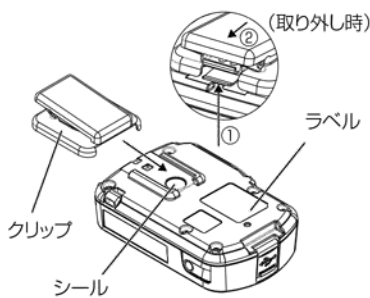
名称	機能
「拡声」キー	キーを押すと拡声状態(拡声する状態)になります。再度キーを押すと待機状態(拡声しない状態)になります。
「電源」キー	(電源オフのとき)長押しで電源をオンします。(電源オンのとき)長押しで電源をオフします。
「△」(上)キー	音量を上げます。
「▽」(下)キー	音量を下げます。

付属品と取り付け方

- 本体 DLS-01
- ヘッドセットマイクロホン EME-844 (以下ヘッドセットと表記)
- 充電用USBケーブル EDS-37
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

クリップ取り付け、取り外し

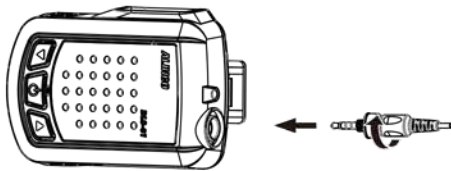
本機のクリップは出荷状態で取り付け済みです。取り外すときはクリップを図の①を押しながら②の向きに引っ張ります。取り付けるときはクリップを図の向きで本体に挿入します。
※シリアル番号は本機裏右下のラベルに記載しております。



注意 イラストの位置にあるシールは絶対に剥がしたり、このシールを覆うように別のシールを貼ったりしないでください。浸水や音質不良など故障の原因になります。

ヘッドセットを接続する

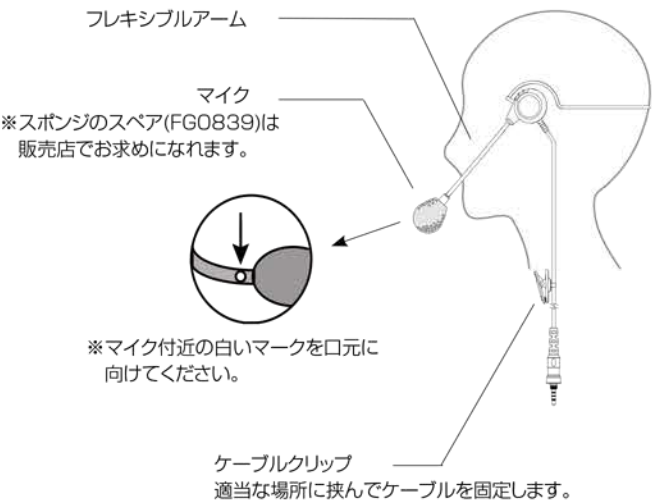
ヘッドセットのプラグをジャックに差し込み、時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは動作しません。取り外すときは反時計方向(左)に回してください。



注意 ・プラグを取り外す際はプラグの胴部分を指で持って、ゆっくり反時計方向に回して引き抜いてください。コードを引っ張るとコードの消耗を早めるばかりでなく、故障の原因になりますので絶対にお止めください。
・ジャックは故障の原因となりやすい部分です。プラグ部分で曲げたり、ねじったり、斜め方向に挿したりしないでください。
・ご購入直後の初期不良以外、プラグ、ジャックやケーブルの破損は保証の対象外となりますので充分ご注意ください。
・弊社純正以外のオプション品を接続しての不具合は、製品保証の対象外となりますので充分ご注意ください。また弊社は一切の責任を負うものではありません。

ヘッドセットを装置する

注意 ・初めてお使いの時はまず本体を満充電にしてください。
・ハウリング防止のため電源を入れる前に必ずマイクを装着してください。



マイクの受音部側(白いマークがある側)を口元に向けてください。フレキシブルアームを曲げてマイクを口の近くまで(1~2cm)調整します。本体をスポンの上部などにクリップで挟み、固定します。

注意 ・受音部が適切な方向に向いていない場合、ハウリングや適切な音を出できない場合があります。
・受音部を口元から約1~2cm離してください。近すぎると音が歪み、離しすぎるとマイクが音を拾いにくくなります。
・フレキシブルアームを曲げるのに力を入れすぎたり、マイクを回転させたり、引っ張ると故障の原因となります。

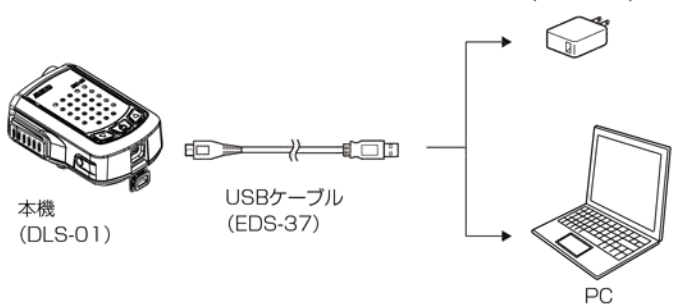
内蔵バッテリーを充電する

注意 ・充電スタンドに本機を挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
・本機は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電にしてから使用ください。
・弊社の充電スタンドは対応する弊社製品専用です。
・充電中は使用できません。電源を入れたまま充電すると、自動的に切っから充電を始めます。
・リチウムイオンバッテリーは定格電圧(50%充電程度)での保存が推奨されています。特にバッテリーが減ったまま保存すると数カ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充充電するメンテナンスをおこなってください。
・充電中は本機を揺らしたり、無駄な抜き差しを繰り返したりしないでください。充電電圧が正しく検出されず、本機の充電状態を示すインジケータが適切に動作しなかったり、途中で充電動作を終了することがあります。

● USBケーブル(EDS-37)を使う

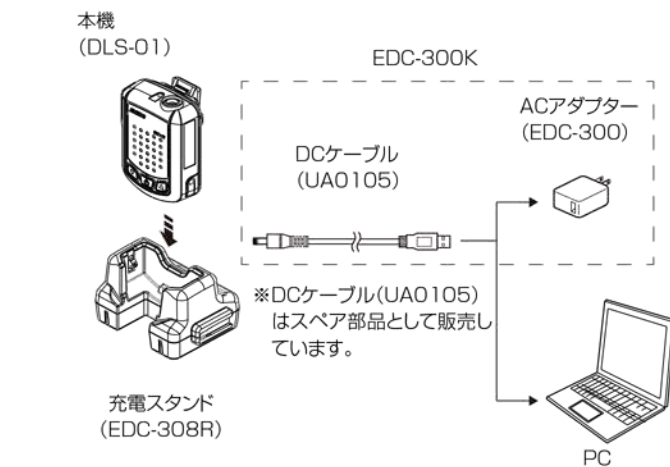
- ①本機下部のゴムキャップの突起部に指をかけて手前に引き、開けます。
- ②USBケーブルのマイクロUSBプラグ側を本機に接続します。
- ③USBケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
- ④ACアダプターを使用する際は、ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)
- ⑤充電が開始され赤色インジケータが点灯します。
- ⑥充電が完了すると緑色インジケータが点滅します。
- ⑦充電が終わったらUSBケーブルを抜き、ゴムキャップをしっかり閉めます。

※市販のUSBアダプターとUSBケーブルの使用は製品保証の対象外です。



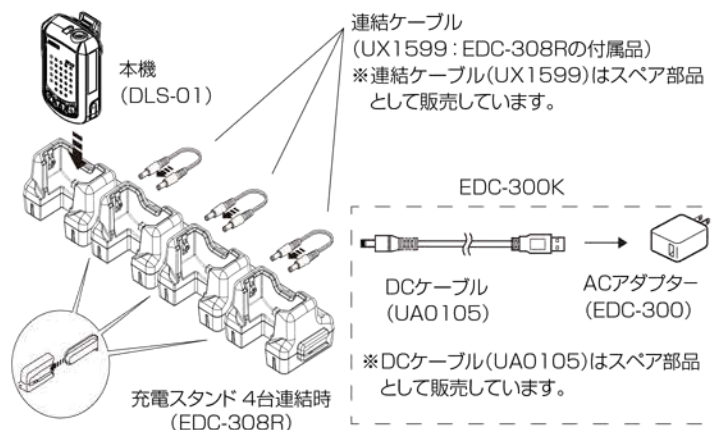
● 別売のEDC-308Rを使う

- ①DCケーブルのDCプラグ側を充電スタンド裏面にあるいずれかのジャックに接続します。
- ②DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
- ③ACアダプターを使用する際はACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)
- ④本機のマイクロUSBジャックのキャップが閉じていることを確認します。
- ⑤本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
- ⑥充電が開始され赤色インジケータが点灯します。
- ⑦充電が完了すると緑色インジケータが点滅します。



● 別売のEDC-308Rを連結して使う

- ①EDC-308Rどうしを連結します。(最大4台連結できます)
 - ②充電スタンド裏面のジャックに連結ケーブルを接続します。
 - ③DCケーブルのDCプラグ側を端の充電スタンド裏面のジャックに接続します。
 - ④DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターEDC-300に接続します。
 - ⑤EDC-300を家庭用コンセントAC100Vに接続します。
 - ⑥本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
 - ⑦充電が開始され赤色インジケータが点灯します。
 - ⑧充電が完了すると緑色インジケータが点滅します。
- ※USB式ACアダプターは2A以上の電流が流れるものがが必要です。



充電時間と運用時間

空のリチウムイオンバッテリーを満充電するのに要する時間は約3時間です。充電温度範囲は0℃~+45℃です。それ以外の温度では充電できません。特に高温な場所は安全のため避けてください。運用時間の目安は満充電の状態から約7時間(10秒拡声、5秒待機の繰り返し、音量レベル6で使用する場合)です。運用時間は環境、音量設定と使用状況などの条件で変わることがあります。リチウムイオンバッテリーを長期間放置すると、自己放電して充電できなくなることがあります。保管に適した温度は25℃です。充電が終わったら放置せず、充電機器から外してください。過充電は電池の劣化を促進します。

オプション一覧

- EDC-300 USB式ACアダプター(2A)
- EDC-300K USB式ACアダプター(2A, DCケーブル付属)
- EDC-308R 連結充電スタンド(連結ケーブル付属)

インジケータ表示について

インジケータ表示	機能
緑色点灯	電源オン/待機状態
赤色点灯	拡声状態/充電中
緑色点滅	満充電
赤色点滅	減電池状態
赤緑交互点滅	充電温度異常時

基本操作

注意 ・室内はハウリングしやすいので音量を最低にしてから調整してください。
・電源を切った後も前回使用時の音量レベルを記憶しています。違う環境で電源を入れるときはハウリングしないよう、音量に注意してください。
・付属品のマイクは指向性があります。マイク付近の白いマーク側が必ず口元に向いていることを確認し、使用してください。音を正しく拾わなかったり、ハウリングが生じる原因となります。
・ハウリングが生じたときは「拡声」キーを押します。スピーカーとマイクの距離をできるだけ離し、音量を下げた後再度「拡声」キーを押して音量調整してください。

キー操作について

本書中、「押す」は押した後、すぐにはなすことを指します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。「長く押す」「長押しする」は機能が動作するまで押し続けることを指します。

電源を入れる/電源を切る

「電源」キーを長押しすると、インジケータが緑色に点灯し、電源が入ります。「電源」キーを長押しすると、電源が切れます。

音量を調整する

「△」キーを押すと音量が大きく、「▽」キーを押すと音量が小さくなります。1~10での10段階変更できます。

拡声する

「拡声」キーを押すとインジケータが赤色に点灯し拡声状態になります。「拡声」キーをもう一度押すとインジケータが緑色に点灯し待機状態になります。



・拡声しないときは待機状態に戻すように心掛けてください。バッテリーの持ちが良くなり、ハウリング防止にも有効です。
・待機状態で15分間放置すると自動的に電源が切れます。

故障とお考えになる前に

「故障かな?」と思われたら、まず以下の処置をご確認ください。また、アクセサリが原因の不具合もありますので必ず点検してください。

症状	原因	処置
●電源が入らない	バッテリーの消耗	充電する
	バッテリーの過放電保護回路が動作している	バッテリーを十分に充電してから電源を入れる
●拡声できない	拡声状態になっていない	「拡声」キーを押して拡声状態にする
	ヘッドセットのプラグが外れかけている	本体のジャックに正しくねじ込む
●ノイズが入る	周辺の電子機器などが妨害している	周辺機器との距離をはなす
●音が小さい	バッテリーの消耗	充電する
	音量が小さくなっている	「△」キーを押して音量を大きくする

メンテナンス

本体が汚れたときはホコリをブラシで落としてから小型家電清掃用のウエットティッシュで、ヘッドセットは軽く湿らせた布で全体を拭いて汚れを落とし、すぐに乾拭きしてください。マイクスポンジは汚れたら新品に交換してください。

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

正誤表

取扱説明書内に2か所、誤りがありましたの訂正いたします。

・ **アフターサービスについて** - ◎注意事項の上から6つ目の項目

誤：本製品は防水、防塵ではありません。水分や粉塵が拡声器内部に入って故障した場合、保証の対象にはなりません。汗や工場で出る鉄粉等は意識していなくても内部に入りがちですので特にご注意ください。

正：拡声器本体は設計段階で外殻保護等級 IP67 相当の耐塵防水試験に合格しています。

- 個別の製品を出荷前に防水検査しているものではありません。
- 常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。
- 運用時は防水性確保のためヘッドセットを本体にしっかり取り付けてください。
- ヘッドセットのマイクユニットは防水ではありません。
マイクスポンジに浸水するような環境では使用をお控えください。

・ **定格** - 使用温度範囲

誤：-20℃～+60℃

正：-10℃～+60℃

PF0376

FNFN-EE

三和システムサービス株式会社

〒230-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-477 福島ビル3F
TEL 048-653-2211 FAX 048-653-2217